

## 社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会

## (平成 30 年度第 1 回) 議事概要

1. 日 時 平成 30 年 10 月 16 日 (火) 10:00~11:45
2. 場 所 九段第 3 合同庁舎 15 階 会議室
3. 出席者
  - [委員長]  
屋井 鉄雄 (東京工業大学環境・社会理工学院教授)
  - [委 員]  
大下 茂 (帝京大学経済学部観光経営学科教授)  
二村 真理子 (東京女子大学現代教養学部国際社会学科教授)  
牧野 昌子 (特定非営利活動法人  
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ代表理事)  
水野 創 (千葉県経済同友会副代表幹事)

## [関東地方整備局]

道路部長 山本 悟司  
道路企画官 松田 和香  
高崎河川国道事務所長 堤 啓

## [群馬県前橋市]

都市計画部長 井上 敬二

4. 議 事
  - (1) 挨拶
    - ・ 関東地方整備局 道路部長
  - (2) 報告
    - 計画段階評価 実施予定箇所
      - ・ 国道 50 号本町二丁目交差点 (五差路)

## &lt;委員からの主な意見等&gt;

## ■ 国道 50 号本町二丁目交差点 (五差路)

- ・ 国道の交差点改良ではあるが、まちづくりと極めて密接に関わる箇所であり、これまでのバイパス等の事業とは性質が異なる。
- ・ 当該箇所は街中のプロジェクトであり、まちづくりについても一緒に考えていくべき。
- ・ これから中心市街地に住む人の周遊方法・人の流れも良く検討した方が良い。
- ・ 自転車による観光、広域からの集客を考えると、自転車事故の多い五差路交差点の自転車安全性についても配慮した方が良い。

- ・五差路を通過する方々のニーズをとらえるために工場等に通勤で利用する方に対して  
も意見を伺って欲しい。
- ・自転車通学で利用するなどに関わる学校関係もヒアリング対象として追加して欲しい。
- ・今回の委員会で市と国で連携して既に計画検討を開始しているのは確認出来たが、3  
つの対策案については、早々に市民や関係者にわかり易く情報提供した方が良い。
- ・政策目標の欄に「道路」「その他」とありそれぞれ「国」「前橋市」となっているが  
共通する項目もあるので、共通項目は一緒にやっていく表現にした方が良い。
- ・今後の意見聴取は計画検討のなかで行い、回数、アンケート等が示された計画段階評  
価の従来方式にとらわれず、市と国が一体となって、例えば、オープンハウス、現地  
への情報看板の設置等、市民等への情報提供を工夫して実施した方が良い。
- ・本交差点は、市街地総合再生計画の中に記載されているなど、すでに上位計画に位置  
づけられている取り組みであると理解した。今後、速やかに、市と国が連携して、計  
画検討がスタートしたことを市民へも公表して、多種の方法を駆使して情報提供と意  
見収集に努め、計画の具体化を図っていくべき。